

(吉田町まちづくりステップアップ行政評価)

平成26年度 行政評価結果報告書

平成26年12月

静岡県吉田町

本資料の見方

1 資料の概要

本資料は、PDCAサイクルの考え方を取り入れた吉田町まちづくりステップアップ行政評価システムのツールである、「吉田町まちづくりステップアップシート」の「C (Check)」シートにおける次年度の方向性を抜き出し、取りまとめたものです。

原則、ここで示された方向性に基づき、次年度以降の実施計画の作成及び次年度予算要求が行われます。

2 項目の説明

本資料における項目ごとの説明は以下のとおりです。

- ① 「No.」…通しの番号
- ② 「実施計画事業名」…評価の基本単位となる実施計画事業の名称
- ③ 「平成25年度の予算事業」…平成25年度に予算を伴って実施した「実施計画事業」に対応する「予算事業名」と「決算額」
- ④ 「平成27年度の方向性」
 - ・ 「現状のまま継続」…実施計画事業の目的や手法を変えずに継続する場合
 - ・ 「見直しの上で実施」…実施計画事業の目的や手法を見直して実施する場合
 - ・ 「休止」…実施計画事業の目的はそのまま、実施計画期間において実施を中断している場合
 - ・ 「廃止」…実施計画事業の全部を取りやめる場合
 - ・ 「終了」…あらかじめ予定された実施計画事業が終了した場合
- ⑤ 「判断理由」…「平成27年度の方向性」を選択した理由
 - ・ 「現状のまま継続」…現状のまま事業を継続する根拠
 - ・ 「見直しの上で実施」…事業の目的や手法が変更された経緯や工夫する点
 - ・ 「休止」…事業の実施を中断する理由、再開に向けての方向性
 - ・ 「廃止」…事業を廃止する理由
 - ・ 「終了」…事業が終了する年度
- ⑥ 「担当課」…実施計画事業の担当課

参考資料

○後期基本計画における章・節

第1章 健康・福祉 ～健康でいきいき暮らせるまちづくり～	P2
第1節 誰もが健やかに暮らせる社会を実現する	
第2節 支えあい、ともに暮らせる社会を実現する	
第3節 子どもが健やかに育つ環境をつくる	
第4節 誰もが暮らしやすい環境をつくる	
第2章 生活環境 ～安全で安心、快適なまちづくり～	P16
第1節 安全で安心して暮らせるまちづくりを進める	
第2節 水環境の保全に取り組む	
第3節 地球にやさしい循環型社会を構築する	
第3章 教育・文化・交流 ～心豊かな人を育むまちづくり～	P30
第1節 次代を担う人づくりを進める	
第2節 心を豊かにする交流を活発化する	
第3節 心身の健康を保つ活動を推進する	
第4節 歴史を継承し魅力ある文化を育む	
第4章 都市整備 ～自然と調和した、人にやさしいまちづくり～	P42
第1節 地域の特性に応じた良好な住環境を実現する	
第2節 安全で利便性の高い交通環境をつくる	
第3節 自然豊かな憩いの場を創出する	
第5章 産業振興 ～魅力ある産業を振興し、活力あふれるまちづくり～	P62
第1節 地域産業を育成・支援する	
第2節 新産業を育成・支援する	
第3節 就業対策を充実する	
第6章 基本計画推進に向けて ～まちづくりの計画の推進～	P70
第1節 自律型行財政運営に基づくまちづくり	
第2節 住民との協働によるまちづくり	

参考資料

○「平成27年度の方向性」の集計結果は次のとおりです。

現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了	合計
139	85	64	2	13	303

第1章 健康・福祉 ～健康でいきいき暮らせるまちづくり～

第1章 健康・福祉 ～健康でいきいき暮らせるまちづくり～ 第1節 誰もが健やかに暮らせる社会を実現する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
1	保健衛生管理事業	保健衛生管理費	8,293	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、施設の適正な維持管理を行い、保健センター機能の維持及び改善を図る。 健やかプラン吉田21(健康増進計画・食育推進計画)の見直しの調査結果を基に現状分析を行い、平成32年度までの計画を策定する。 	健康づくり課
2	健康づくり事業	健康づくり事業費	1,479	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度に変更したダンス健康づくり推進会活動、総合体育館の教室、新規事業のらくらく筋トレ教室等の事業評価を行い、事業を見直す。 ウォーキングコースのマップを作成し、ウォーキングの普及、啓発を通し運動習慣の定着を図る取り組みをしていく予定である。 健康寿命の延伸を目指し、町民自身の健康づくりの実践を支援していくため、静岡県ふじのくに健康長寿プロジェクトのひとつである健康マイレージ事業に取り組んでいく予定である。 	健康づくり課
		ダンス健康づくり事業費	5,687			
		健康体操運営費	3,097			
3	健康増進事業	健康増進事業費	28,548	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> がん検診について、総合がん検診や複合がん検診、クーポン券の交付など、平成25年度に導入した環境整備について、住民へのさらなる周知を図るため、PR方法を検討する。 町の各種統計資料、特に特定健診結果から捉えた健康課題に対し、生活習慣改善につながるための事業体制を整備する。 	健康づくり課
4	小・中学校 健康診断事業	小・中学校健康診断費	11,907	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒及び教職員が、健康で安心・安全に学校生活を送ることができるよう、引き続き、健康診断等を通して健康管理を行う。 	教育委員会 事務局
5	感染症予防事業	感染症予防費	78,005	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 毎年見直しが行われる予防接種に対し、対象者が混乱することなく確実に接種できるよう、国の流れや情報を的確に捉え遂行する。 積極的接種勧奨の差し控えとなった子宮頸がん予防ワクチン接種について、国の情報に基づき対応する。 風しん予防接種費助成事業については、風しんの流行等情勢に合わせ検討する。 接種率の向上を図るため、接種勧奨を強化する。 日本脳炎予防接種を個別接種に移行する予定である。 	健康づくり課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
6	母子保健事業	母子保健衛生費	169,132	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度からこども発達支援事業所が開設されたため、療育体制について連携を図りながら、母子保健事業の中で実施する療育事業の位置づけを明確にする。 県の特定不妊治療費助成事業の助成対象範囲が変更され、平成26年度から一部、平成28年度から完全施行されることに伴い、町の助成対象範囲についても検討する。 母子に対し、早期から関わりを持ち、育児状況の確認や育児不安の軽減につなげていけるよう現在実施している事業の見直し・統合を検討しながら乳児期の定期健康相談事業を追加していく予定である。 妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や支援を行うため、すべての妊産婦等の状況を継続的に把握し、情報の一元化を図るための取り組みをしていく予定である。 	健康づくり課
7	食育推進事業	食育推進事業費	611	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 事業の目的を達成するため、各事業の実施方法や内容を再検討していく必要がある。 食育マップを活用した食育推進について検討する。 見直しの調査結果を基に食育推進計画を策定する。 	健康づくり課
8	地域医療体制 整備事業	-	-	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療体制の課題と対策について、関係機関と協議していく必要がある。 	健康づくり課
9	救急医療体制 整備事業	救急医療対策事業費	4,680	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 志太榛原地域の救急医療体制についての課題等について、関係市町で協議し、より良い体制の整備に努める。 	健康づくり課
10	榛原総合病院組合 事業(負担金)	榛原病院負担金	446,438	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 榛原総合病院への負担金の継続により、通常医療のみでなく、夜間救急や災害時の救護病院として機能させる必要があるため、現状の維持が必要である。 引き続き、榛原総合病院による医療の提供状況を確認しながら、病院機能の向上を支援する。 	健康づくり課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
11	災害時医療救護 対策事業	災害時医療救護 対策事業費	329	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・救護所に必要な物品を見直し、整備を引き続き進める。 ・医療救護計画や災害時健康支援マニュアルの検討をさらに行う。 ・医療救護訓練の実施を予定する。 ・新型インフルエンザ等対策について協議を継続する。 	健康づくり課
		災害時医療救護 対策事業費 (繰越明許)	1,933			

第1章 健康・福祉 ～健康でいきいき暮らせるまちづくり～ 第2節 支えあい、ともに暮らせる社会を実現する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
12	地域福祉推進事業 (福祉総務事業)	福祉総務費	556	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 旅費の支給、消耗品等の支給、公用車の維持を行う。 平成26年度からは「障害者(児)社会参加推進事業」を集約して実施する。 	社会福祉課
13	臨時福祉給付金 給付事業	-	-	終了	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は単年度事業のため。 	社会福祉課
14	地域福祉推進事業 (戦没者追悼事業)	戦没者追悼事業費	572	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 現在の平和と繁栄の陰に、先の大戦において、内外地を通じて多数の犠牲があったことを深く考え、平和への思いを新たにするために今後も式を継続する。 	社会福祉課
15	地域福祉推進事業 (地域福祉計画 の策定)	-	-	休止	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画は、社会福祉法において地域福祉の推進に関する事項を定める計画を策定することとされている。現在の計画は平成24年度に策定しており、今後は、町を取り巻く環境の変化や法改正を踏まえ、おおむね5年毎の見直しを行い、新たな計画を策定する。 	社会福祉課
16	地域福祉推進事業 (社会福祉協議会)	社会福祉協議会補助金	27,947	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、補助金の助成を継続し、福祉の増進に関する人材の育成、サービスを活用しやすい仕組みづくりに努める。 	社会福祉課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
17	地域福祉推進事業 (民生委員・ 児童委員活動)	民生・児童委員活動費	6,132	現状のまま継続	・定員3人を増員したことにより、担当地区の世帯数や高齢者数の負担格差をなくし、委員活動の負担軽減をした。引き続き、住民、行政、企業(事業者)との連携を図り、協働による地域福祉活動を推進する。	社会福祉課
18	国民年金事務事業	国民年金事務費	538	見直しの上で実施	・年金資格・期間等の照会、窓口相談は、現行では電話による照会と紙ベースでのやりとりが主な方法であるが、今後はこれらの作業に対応できる「年金ネット(専用回線を使用し、記録等の照会が可能となる。)」の導入を検討し、事務の効率化と行政サービスの向上を図る。 ・年金生活者支援給付制度に関する事務処理を行う。 ・引き続き、法定受託事務として予定されている事務を確実に処理する。	町民課
19	国民健康保険事業 会計繰出金	国民健康保険事業 会計繰出金	72,541	現状のまま継続	・国民健康保険事業を適正かつ円滑に行うため、基準内の繰出しを実施する。	町民課
20	国民健康保険事業 (特別会計)	国民健康保険事業 特別会計	2,841,734	見直しの上で実施	・医療費の適正化を図るため、レセプト点検、重複多受診の防止のための指導を行う。 ・特定健康診査の受診率向上のため、がん検診との同時実施の拡大を検討する。さらに、医療機関にかかっている方、既に疾病がある方も対象となっているため、制度を理解してもらうよう説明し、受診を勧奨する。 ・年々増加傾向にある医療費に対し、国民健康保険税の収納率向上を図るべく、税務課と連携を取り、引き続き口座振替の勧奨や資格の適正化に努める。 ・社会保障・税番号制度の連携システムの改修について検討する。	町民課
21	老人保健事務事業	老人保健事業事務費	1	現状のまま継続	・老人保健制度は、経過措置により継続中のため、過誤処理等に係る事務を行う。	町民課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
22	後期高齢者医療事業	後期高齢者医療事業 事務費	234,984	現状のまま継続	・保険料の納付を含む制度の周知を図り、保険料の収納率の向上に努める	町民課
23	後期高齢者医療事業 (特別会計)	後期高齢者医療事業 特別会計	216,292	現状のまま継続	・後期高齢者医療制度は、現行制度が継続されるため、今後も適正に事業を行う。	町民課
24	介護保険会計繰出金	介護保険事業会計 繰出金	224,700	現状のまま継続	・平成26年度に策定する介護保険事業計画に沿って、事業を円滑に実施するために、介護保険制度に基づいた割合で繰出しを行う。	高齢者支援課
25	介護保険事業 (特別会計)	介護保険事業 特別会計	1,582,638	見直しの上で実施	・平成26年度に策定する新たな介護保険事業計画に基づいて事業を実施する。	高齢者支援課
26	低所得者利用者 負担額軽減措置事業	低所得者利用者 負担額軽減措置事業費	446	現状のまま継続	・介護保険制度に基づく事業であり、低所得者の負担軽減を図るため、現状のまま継続する。	高齢者支援課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
27	生活保護事業 (生活保護費)	生活保護費	1	現状のまま継続	・当面は、生活保護の実施機関である静岡県と連携して生活保護実施に協力する。	社会福祉課

第1章 健康・福祉 ～健康でいきいき暮らせるまちづくり～ 第3節 子どもが健やかに育つ環境をつくる

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
28	地域子育て支援 拠点事業	地域子育て支援 拠点事業費	4,318	現状のまま継続	・新たな子育て支援センターの拠点をすみれ保育園内に設けたことから、今後は移動支援センターの充実を図ることで親子の交流の場を広げ、地域交流、世代間交流、各種団体の交流や機会の充実に努める。	社会福祉課
29	児童福祉事業	児童福祉費	3,308	見直しの上で実施	・子育てにかかる経済的負担を軽減するための施策を検討する。	社会福祉課
30	子育て世帯臨時特例 給付金給付事業	-	-	終了	・本事業は単年度事業のため。	社会福祉課
31	吉田町次世代 育成支援 (児童手当事業)	児童手当費	593,874	現状のまま継続	・児童手当法に基づき、事業を実施する。	社会福祉課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
32	保育園管理運営事業	保育園管理費	104,175	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援施設の運営を軌道にのせ、乳幼児から児童までの療育システムの構築を図り利用者に周知する。 ・町独自の延長保育、土曜保育、日曜保育、一時預かり保育等の多様な保育の需要に応えるために入所しやすい保育サービスの提供を今後も行う。 ・保護者の就労実態等により、短時間保育を行う。 	社会福祉課
		さくら保育園運営費	17,222			
		すみれ保育園運営費	13,288			
		さゆり保育園運営費	19,822			
		わかば保育園運営費	20,519			
		あやめ保育園管理費	577			
		すみれ保育園建設事業費	812,804			
		すみれ保育園建設事業費 (繰越明許)	228,758			
33	児童館運営事業	児童館運営費	9,586	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業は現状どおり実施していくとともに、事業をきっかけとした常時利用の促進を図る。 	社会福祉課
34	放課後児童 健全育成事業	放課後児童 健全育成事業費	30,548	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度からスタートする子ども・子育て支援制度に向け、対象年齢を小学6年生までに引き上げるとともに、施設の拡充の検討や事業の内容を再調整する。 	社会福祉課
35	児童遊園整備事業	児童厚生施設整備費	408	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数、設置根拠等の問題から、今後に向けて自治会、関係課と協議の上、廃止・移管に向けた準備を行う。 	社会福祉課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
36	児童発達支援事業	-	-	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・より利用者の生活実態や意向を踏まえた個別支援計画が立案でき、児童の発達に即した対応ができるよう、計画立案の時期や相談体制を見直す。 ・質の高い療育及び子育て支援サービスを実施するための職員の研修体制を整備する。 ・保育者と保護者とが両輪となって児童の発達を促すことができるよう、保護者のための研修を計画する。 ・備品を購入し、療育活動の内容の充実を図る。 	社会福祉課
37	子ども会育成 助成金事業	子ども会育成連合会 助成事業費	400	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う児童の心身ともに健全で健やかな育成と支援を現状のまま継続とする。 	社会福祉課
38	児童虐待防止事業	児童虐待防止事業費	4,170	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童等対策は家庭訪問の実施、関係機関との連携を密にし、現状のまま事業継続とする。 	社会福祉課
39	ひとり親家庭 対策事業	ひとり親家庭 対策事業費	5,322	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の経済的な自立と生活の安定を図るため、日常生活の支援や相談指導体制を充実させることが必要である。母子家庭等医療費助成は国、県の施策に基づく事業であり、今後も現状のまま継続とする。 	社会福祉課

第1章 健康・福祉 ～健康でいきいき暮らせるまちづくり～ 第4節 誰もが暮らしやすい環境をつくる

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
40	高齢者福祉推進事業	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費	1,418	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守りネットワーク連絡会において研修会や意見交換会等を開催し、ネットワークについての理解を深める。また、新たな登録事業所として協力していただけるよう働きかける。 ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は3年に一度の策定であり、次回策定は平成29年度のため休止とする。 	高齢者支援課
		高齢者見守り体制整備事業費	482			
		ひとり暮らし高齢者等対策事業費	759			
41	高齢者社会参加推進事業	高齢者社会参加推進事業費	54,859	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター会員の増加と高齢者の社会参加を推進するため、高齢者福祉推進関係団体としての活動を支援する。 ・高齢者の地域活動の推進と福祉の向上に資するため、さわやかクラブへの補助金交付による支援を継続する。 ・高齢者人材活用センターの運営に際して、高齢者の就労や活動の拠点となるよう事業を展開する。 	高齢者支援課
42	高齢者福祉事業	福祉介護手当支給事業費	2,540	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中、高齢者とその家族が安心して生活を送ることができるように、各種福祉サービスについて再検討する。 	高齢者支援課
		老人福祉対策費	633			
		敬老事業費	2,847			
		老人保護措置費	6,585			
43	高齢者福祉施設管理事業	社会福祉施設管理事業費	62,454	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度及び平成26年度の2か年で建設を進めている「高齢者人材活用センター」の管理運営について、指定管理者制度を導入する。 	高齢者支援課
44	障害者自立支援施設管理事業	障害者自立支援施設管理事業費	4,277	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型施設の定員管理について指定管理者と協議し、施設の増設に向けて見直しを図る。 	社会福祉課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
45	障害者(児) 自立支援事業	心身障害者 自立支援事業費	307,165	現状のまま継続	・障害者総合支援法に基づく事業であるため、引き続き継続する。	社会福祉課
		地域生活支援事業費	29,617			
46	障害者(児) 在宅福祉事業	心身障害者施設等 負担金	18,732	見直しの上で実施	・町内の障害児の需要の受け皿として吉田町立こども発達支援事業所がすみれ保育園内に開設されたことで、他施設への負担金は減少する。 ・障害児への療育を支援するため、引き続き、負担金を支出する。	社会福祉課
		心身障害者施設等 負担金 (繰越明許)	2,210			
47	障害者(児) 更生援護事業	心身障害者福祉費	3,884	現状のまま継続	・生活支援を継続的に行うことで、障害者(児)が安心できる生活の基盤を形成することができるため。	社会福祉課
		心身障害者更生援護費	48,606			
48	障害者(児) 社会参加促進事業	障害者(児)社会参加 推進事業費	1	現状のまま継続	・平成26年度からは「福祉総務事業」へ集約して実施する。	社会福祉課

第2章 生活環境 ～安全で安心、快適なまちづくり～

第2章 生活環境 ～安全で安心、快適なまちづくり～ 第1節 安全で安心して暮らせるまちづくりを進める

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
49	災害救助事業	災害救助費	0	現状のまま継続	・引き続き、突発的災害に備えるため、現状のまま事業を実施する。	社会福祉課
50	災害復旧事業	農林水産施設 災害復旧費	0	現状のまま継続	・災害発生時において、公共土木施設等が適正に操作できるよう、点検等を実施する。	都市建設課
		公共土木施設 災害復旧費	0			
51	防災意識向上事業	防災意識向上事業費	3,688	見直しの上で実施	・地域防災指導員と連携し、指導員を活用した防災講座や研修会の開催など地域主導の事業展開を図る。 ・「地域防災指導者養成講座」を開催し、引き続き指導員候補者の養成を進める。	防災課
52	地震・防災対策事業	地震対策費	882,779	見直しの上で実施	・社会資本整備計画(都市防災総合推進事業)及び緊急地震・津波対策事業基金が、いずれも最終執行年度となることから、確実な事業執行と予算確保により地震・津波防災対策を推進する。 ・「緑の防潮堤」を含む津波防護対策の本格執行に向けた関係機関との調整及び土砂・苗木の確保について着実に進める。 ・本部運営訓練を踏まえ、今後の災害対策本部体制の見直しを検討する。	防災課
		地震対策費 (繰越明許)	4,812,072			
		国民保護対策費	1			
53	TOUKAI-0 促進事業	TOUKAI-0促進事業費	6,003	見直しの上で実施	・当事業を積極的に町民に周知し、申請件数を伸ばすよう努力する。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
54	治水対策推進事業	治水対策推進事業費	10	現状のまま継続	・住民の生命と財産を守る事業であるため、県に対して耐震水門の建設等の要望活動を行う	都市建設課
55	津波・高潮危機管理対策事業	津波・高潮危機管理対策事業費	11,235	見直しの上で実施	・海岸保全施設を粘り強い構造や嵩上げ等の整備を実施していくため、事業計画を策定する。	産業課
56	応急危険度判定士資機材整備事業	—	—	見直しの上で実施	・南海トラフ巨大地震発生時に想定される当町の1日当たり必要判定士数は、116人(静岡県地震被災建築物応急危険度判定 県・市町実施体制一覧表より)であり、資機材は58セット必要であるが、現在備蓄しているセット数は39であり、19セット不足していることから、不足分を補うことが必要である。	都市建設課
57	情報伝達充実・強化事業	情報伝達充実・強化事業費	8,885	見直しの上で実施	・津波避難タワーへの避難者に対する情報伝達手段に関して、その必要性の検討を踏まえた対応を図る。 ・同報無線の効果的な整備計画の作成に向けて必要な調査等を実施する。	防災課
58	水防事業	水防費	80	現状のまま継続	・今後も、水害等の災害に備えるため、水防資材の補充及び点検を実施する。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
59	榛南幹線水路事業	榛南幹線水路事業費	46,556	終了	・平成25年度に事業が完了したため。	都市建設課
		榛南幹線水路事業費 (線越明許)	90,261			
60	大幡川等改修事業	大窪川改修事業費	8,298	見直しの上で実施	・国庫補助事業により事業を実施することで、事業費が多額となる当該事業を計画的に整備を進め、早期の完成を図るものとする。	都市建設課
61	都市下水路事業	都市下水路費	100	現状のまま継続	・都市下水路としての機能維持や生活環境の改善を図るため、今後も浚渫等は必要であることから継続して実施する。	都市建設課
62	西の宮川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
63	前川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
64	高畑山通り排水路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
65	下西排水路改修事業	—	—	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
66	中川原排水路 改修事業	—	—	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
67	西の宮東排水路 改修事業	—	—	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
68	問屋川改修事業	—	—	休止	・当該事業の実施により川尻地域の排水施設が強化され、浸水被害の減少に効果的で重要な事業であるが、実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
69	稲荷川改修事業	—	—	休止	・当該事業の実施により住吉地域の排水施設が強化され、浸水被害の減少に効果的で重要な事業であるが、実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
70	西川原問屋2号線 水路改修事業	西川原問屋2号線 水路改修事業費	2,940	現状のまま継続	・平成27年度に工事を実施し完了予定。	都市建設課
71	片岡下河原 水路改修事業	—	—	終了	・平成26年度に工事を実施し完了予定。	都市建設課
72	交通安全対策事業	交通安全施設整備費	5,749	現状のまま継続	・区画線の損耗や老朽化による視認性の低下が見られるため、今後も継続して事業を実施する。	都市建設課
73	交通安全推進事業	交通安全推進費	6,285	現状のまま継続	・高齢者事故の防止事業、また主要幹線道路における交通安全対策を中心に事業を実施し、交通死亡事故が起きないように努めるとともに、物損事故件数の減少を図る。	防災課
		交通指導員活動費	5,460			

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
74	防犯対策推進事業	防犯対策推進費	16,735	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・広報を中心とした事業展開により防犯意識の高揚が図られつつあるが、引き続きより多くの町民、団体に周知し、犯罪件数の減少を図る。 ・地域住民が夜間に犯罪に巻き込まれない環境づくりのために、防犯灯の設置・管理を継続して行う。 ・防犯灯の維持管理は、各自治会に業務委託しており、引き続き地域での防犯意識を高めてもらうためにも現状のまま自治会に委託する。 	防災課 総務課
75	消費生活啓発事業	消費生活費	2,522	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度で消費者行政活性化基金事業が終了する可能性があり、効率性を上げるため、広報誌や吉田町HPでの最新被害情報の周知や町で作成した資料を活用し、啓発を行う。 ・消費生活相談員による無料出前講座を普及させ、身近でより効果的に消費者意識の向上を図る。 ・民生委員や社会福祉協議会、各学校と連携した高齢者・障害者・未成年者の見守り、公共施設や町内イベントでの啓発活動等業務の向上を図る。 	産業課
76	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (消防費)	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (消防費)	239,600	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広域施設組合及び関係市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。 	防災課
77	消防団運営事業	消防団運営費	18,115	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ2年において団員数は微増であり、条例定数210人を目標に、今後も消防団及びまとい会・町内会・行政とが協力し、団員確保に努める。 ・消防団員が災害現場において、より安全に活動出来るように装備を充実させる。 	防災課
78	消防団員 福利厚生事業	消防団員 福利厚生費	9,832	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、家族慰安事業、退職報償金の支給、公務災害補償、消防団員の福祉共済への加入を続けることで、団員の福利厚生を図る。 	防災課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
79	消防施設整備事業	消防施設 整備事業費	5,352	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・より安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、また団員が災害現場で出来る限り安全に活動出来るように、消防団の装備品の充実、消防施設の維持修繕を継続して実施する。 ・初期消火による火災の早期鎮火を図るため、消火栓充足率100%を目指し、消火栓の整備を継続して実施する。 	防災課
		消防施設 整備事業費 (繰越明許)	100,922			
80	消防救急広域化事業	消防救急広域化事業費	997	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広域化の4つの基本理念である「住民への消防サービスの充実強化」「全市町の一体的な総合力の発揮」「投資の効率化と参加自治体のコスト削減」「参加自治体首長等の運営への主体的参画」に基づき、各市町及び各消防本部と協働し、「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」の実現に向け、協議及び事業を実施する。 	防災課

第2章 生活環境 ～安全で安心、快適なまちづくり～ 第2節 水環境の保全に取り組む

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
81	水道事業会計 (資本的支出) 建設改良事業	建設改良費	369,508	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 水道水の安定供給を図るため、建設改良事業を進める。 配水管布設替事業は、毎年実施しており、漏水事故の件数は徐々に減少してきているが、残存する石綿管(残延長439メートル)を含む老朽管を中心に計画的に耐震管に整備していく必要がある。 	水道課
		固定資産購入費	7,512			
82	水道事業会計 (水道事業費) 営業費用	原水浄水及び配水給水費	110,394	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 財政シミュレーションの結果を基に、地方公営企業会計制度等の見直しによる影響や資金運営を分析し、より安定的な事業運営に向けて水道事業を行う。 水道事業は、水道法第6条第2項に「市町村経営の原則」が規定されており、地方公営企業法第17条の2には、「地方公営企業の経理は、一部例外を除き、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない、独立採算制であること。」が規定されている。今後とも、「水道の三原則(清浄、豊富、低廉)」を意識して安全で安心した水道水を供給する。 応急給水、耐震化計画を策定し災害時の応急対策の諸活動を迅速かつ的確に実施できる体制を作る。 	水道課
		受託工事費	94			
		業務費	40,412			
		総係費	21,848			
		減価償却費	217,756			
		資産減耗費	9,917			
		その他営業費用	92			
83	水道事業会計 (水道事業費) 営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	69,761	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。 企業債の借入を必要最小限度に止め、収支を確保し、経営の健全化を図る。 	水道課
		繰延勘定償却	18,789			
		雑支出	4,064			
		消費税	3,201			
84	水道事業会計 (水道事業費) 予備費	予備費	0	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 不測の事態に備えるため、引き続き、予備費を措置する。 健全な水道事業会計の運営を行う。 	水道課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
85	水道事業会計 (資本的支出) 企業債償還金	企業債償還金	113,324	現状のまま継続	・引き続き、償還計画に基づき、償還を進める。	水道課
86	水道事業会計 (水道事業費) 特別損失	その他特別損失	0	終了	・地方公営企業法の見直しによる特別損失の計上は、平成26年度で終了する。	水道課
87	公共下水道事業 繰出金	公共下水道費	635,467	現状のまま継続	・起債償還に係る公債費は、今後も、平成33年まで5億円を上回る状態が続く。維持管理費に係る収支の改善を一層進めることとするが、下水道事業に係る収入で賄えない分に対し、一般会計から繰出しを継続する。	下水道課
88	公共下水道事業 特別会計 (建設費)	職員人件費	38,246	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・普及促進については吉田町公共下水道全体計画を見直し、基本構想・基本計画の策定を経て、事業計画を再度策定する。 ・機器の計画的更新については平成25年度に策定した「吉田町下水道長寿命化計画」に沿って進める。 ・地震対策については、吉田町下水道総合地震対策計画の期間延伸を利用して管渠の耐震化を継続して進める。 	下水道課
		公共管渠建設費	122,400			
		町単管渠建設費	54,479			
		町単排水設備 (公共マス)建設費	5,138			
		公共浄化センター 建設費	63,000			
		町単浄化センター 建設費	10,986			
89	公共下水道事業 特別会計 (維持管理費)	管渠維持管理費	6,234	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づく事業実施により、機器の計画的更新を行い、点検整備にかかる費用や故障による修繕費を低減し、経費回収率の向上を図る。 	下水道課
		職員人件費	7,275			
		浄化センター 維持管理費	113,001			

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
90	公共下水道事業 特別会計 (公債費)	元金	343,415	現状のまま継続	・引き続き、借入先からの償還表に基づき償還する。	下水道課
		利子	176,257			
91	生活排水改善 対策事業	生活排水改善対策 事業費	34,722	現状のまま継続	・吉田町浄化槽設置費補助金を継続し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。	下水道課
92	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (し尿処理費)	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (し尿処理費)	92,892	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	町民課

第2章 生活環境 ～安全で安心、快適なまちづくり～ 第3節 地球にやさしい循環型社会を構築する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
93	環境衛生推進事業	環境衛生推進事業費	1,858	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防法に基づく事務処理及び一般廃棄物処理業の届出に係る事務処理を行う。 ・飼い主のいない猫を減らすため、「吉田町飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金」の予算額の見直しを行う。 	町民課
94	環境保全事業	環境保全費	10,132	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公共用地の草刈り、ごみの回収、不法投棄の回収等を速やかに実施し、環境を保全する。 ・不法投棄を防止するための対策について検討する。 	町民課
95	公害対策事業	公害対策費	3,940	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染防止法等の法律に基づく特定施設について、排出物質等の規制値の遵守や公害事故防止対策の指導を行うことにより、生活環境を保全する。 ・公害苦情発生時には早急に対応し、状況に応じた公害監視体制について検討する。 	町民課
96	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (火葬場費)	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (火葬場費)	13,308	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。 	町民課
97	ごみ減量・リサイクル 推進事業	ごみ減量・リサイクル 推進事業費	607	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン活動助成事業奨励金の対象となる古紙類等の売却単価の動向を確認し、単価を変更するなど制度を見直す。 	町民課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
98	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (ごみ処理費)	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (ごみ処理費)	404,469	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	町民課
99	地球温暖化 防止対策事業	地球温暖化 防止対策事業費	1,403	見直しの上で実施	・住宅用太陽光発電システム設置事業費補助金を見直し、エネルギーの地産地消に係る設備の設置を推進するとともに、他の自然エネルギーの活用についても検討する。	町民課
100	環境教育推進事業	環境教育推進事業費	19	見直しの上で実施	・環境に対する啓発事業の拡大を図り、町民が環境を考える機会を増やす。 ・他の事業等と連携するなど、環境教室の開催方法や内容、受講者の募集方法、対象者について検討する。	町民課

第3章 教育・文化・交流 ～心豊かな人を育むまちづくり～

第3章 教育・文化・交流 ～心豊かな人を育むまちづくり～ 第1節 次代を担う人づくりを進める

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
101	幼稚園運営補助事業	幼稚園就園奨励費・ 幼稚園運営費 補助事業費	20,258	現状のまま継続	・吉田町の幼児教育の現状として、町内に公立幼稚園はなく、幼児教育を受けるには町内にある2校の私立幼稚園又は近隣の私立幼稚園に通うことになる。今後も引き続き、私立幼稚園に対する運営費補助金及び就園奨励費補助金により、町内の幼児教育の振興を図る。	教育委員会 事務局
102	教育委員会運営事業	教育委員会費	1,176	見直しの上で実施	・吉田町の教育を一体的に推進するとともに、新たな教育行政に対するニーズに対応した施策展開を検討する。 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、見直しの上、適切な運営を行う。	教育委員会 事務局
103	事務局事務事業	事務局事務費	6,606	見直しの上で実施	・引き続き、学校教育活動及び教育委員会事務局活動を円滑に実施するため、事業を実施する。 ・通学路の安全確保については、地域住民や保護者、警察、道路管理者等関係機関の連携による一体的な対応を検討する。	教育委員会 事務局
104	教育振興事業	教育振興事業費	44,099	見直しの上で実施	・通級指導教室の運営や吉田町ラーニングプラン事業の実施、町内の小中学校への臨時職員・教員補助員・特別支援教育支援員の配置による学習環境の向上に加え、巡回相談・ことばの教室や外国人児童生徒相談員による児童生徒への支援、CIUの派遣による国際理解教育の推進等の取り組みにより、町内教育環境の向上が図られているため。 ・平成32年度から小学校の教育課程に英語が加わる。その際、現状の体制ではCIUの人数等不足が生じると考えられるため、人数増等の対策を講じる必要がある。	教育委員会 事務局
105	教職員等教育活動 補助事業	教職員等 負担金・補助金	2,856	現状のまま継続	・引き続き、中学校体育連盟大会運営助成金の支出や中学校部活動の県大会以上派遣補助金の交付を行い、教職員の指導力強化や部活動を通じた生徒の育成に努め、教育環境の充実を図る。	教育委員会 事務局

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
106	ちいさな理科館事業	ちいさな理科館事業費	5,996	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、町民ニーズを把握しながら、子どもたちがさらに理科に興味を持つような事業を展開する。 学校や関連施設との連携を深め、理科館の効率的な運営が行えるよう、体制を整える。 	教育委員会事務局
107	住吉小学校 維持管理事業	住吉小学校 維持管理費	25,449	現状のまま継続	引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	教育委員会事務局
		住吉小学校 維持管理費 (繰越明許)	177,350			
108	中央小学校 維持管理事業	中央小学校 維持管理費	30,680	現状のまま継続	引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	教育委員会事務局
		中央小学校 維持管理費 (繰越明許)	333			
109	自彊小学校 維持管理事業	自彊小学校 維持管理費	18,604	現状のまま継続	引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	教育委員会事務局
		自彊小学校 維持管理費 (繰越明許)	463			
110	吉田中学校 維持管理事業	吉田中学校 維持管理費	35,659	現状のまま継続	引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	教育委員会事務局
		吉田中学校 維持管理費 (繰越明許)	1,377			

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
111	中央小学校グラウンド 整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する。	教育委員会 事務局
112	小学校校舎改築事業	—	—	休止	・児童数、クラス数の推移に留意しながら実施時期を検討する。	教育委員会 事務局
113	水泳場整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する。	教育委員会 事務局
114	住吉小学校 要保護・準要保護 児童就学援助事業	住吉小学校 要保護・準要保護 児童就学援助費	1,948	現状のまま継続	・平成27年度以降においても、事務処理要項等に基づき事業を実施し、経済的理由により就学困難な児童を無くし、等しく円滑に教育を受けられるように支援する。	教育委員会 事務局
115	中央小学校 要保護・準要保護 児童就学援助事業	中央小学校 要保護・準要保護 児童就学援助費	1,948	現状のまま継続	・平成27年度以降においても、事務処理要項等に基づき事業を実施し、経済的理由により就学困難な児童を無くし、等しく円滑に教育を受けられるように支援する。	教育委員会 事務局

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
116	自彊小学校 要保護・準要保護 児童就学援助事業	自彊小学校 要保護・準要保護 児童就学援助費	631	現状のまま継続	・平成27年度以降においても、事務処理要項等に基づき事業を実施し、経済的理由により就学困難な児童を無くし、等しく円滑に教育を受けられるように支援する。	教育委員会 事務局
117	吉田中学校 要保護・準要保護 生徒就学援助事業	吉田中学校 要保護・準要保護 生徒就学援助費	4,004	現状のまま継続	・平成27年度以降においても、事務処理要項等に基づき事業を実施し、経済的理由により就学困難な生徒を無くし、等しく円滑に教育を受けられるように支援する。	教育委員会 事務局
118	住吉小学校 特別支援学級事業	住吉小学校 特別支援学級費	543	現状のまま継続	・引き続き、「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に通級している児童の家庭に対し、経済的な支援を行うとともに、良好な教育環境を整備し、教育の充実を図る。	教育委員会 事務局
119	中央小学校 特別支援学級事業	中央小学校 特別支援学級費	265	現状のまま継続	・引き続き、「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍する児童の家庭に対し、経済的な支援を行うとともに、良好な教育環境を整備し、教育の充実を図る。	教育委員会 事務局
120	自彊小学校 特別支援学級事業	自彊小学校 特別支援学級費	264	現状のまま継続	・引き続き、「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に通級している児童の家庭に対し、経済的な支援を行うとともに、良好な教育環境を整備し、教育の充実を図る。	教育委員会 事務局

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
121	吉田中学校 特別支援学級事業	吉田中学校 特別支援学級費	601	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、特別支援学級に在籍する生徒に対し、必要な教材等を提供する。 引き続き、「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍する生徒の家庭に対し、経済的な支援を行う。 	教育委員会 事務局
122	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (共同調理場)	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (給食施設費)	102,641	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、広域施設組合及び関係市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。 	教育委員会 事務局
123	地域教育推進事業	地域教育推進事業費	766	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを育む体制づくりを推進するため、継続した支援を行い、地域と家庭の連携を強化する。 	教育委員会 事務局
124	地域教育活動事業	地域教育活動費	2,956	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 当事業を行うことで、子どもに様々な体験をさせることができるとともに、地域の大人とかかわる機会にもなっているため、継続して実施する。 	教育委員会 事務局
125	青少年健全育成事業	青少年健全育成事業費	334	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔いっぱい運動賛同者の活動により「黄色のベストは安全」という認識が広がっている。それに伴い、声掛けをする側もされる側も安心できる環境が形成されてきているため、現状のとおり賛同者を増やすことでその環境づくりを推進する。 青少年健全育成の環境づくりを行うため、青少年健全育成委員の活動について、引き続き実施する。 	教育委員会 事務局

第3章 教育・文化・交流 ～心豊かな人を育むまちづくり～ 第2節 心を豊かにする交流を活発化する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
126	多文化共生推進事業	国際交流推進費	1,405	見直しの上で実施	・多文化共生推進のために必要な事業の選択とその事業の実施方法を検討するとともに、現在の国際交流事業費補助金の補助対象についても見直しを行う。	企画課
127	地域交流事業	地域交流費	3,375	現状のまま継続	・引き続き、「吉田町交流活性化ビジョン」の実現に向けた都市間交流事業を実施する。 ・吉田カムカム補助金対象イベントの開催により多くの人が町を訪れ、町の賑わいや地域活性化の効果が得られていることから、本事業を継続し既存のイベントの継続及び新規イベントの誘致に取り組む。	企画課
128	空港活用推進事業	空港活用推進費	1,087	現状のまま継続	・県の総合計画において29年度における年間搭乗者数の目標を70万人と設定していることから、この目標の達成に向けて引き続き空港周辺市町が連携して空港の利活用促進を図る。 ・空港と地域の調和ある発展を進めるため、吉田町空港対策協議会と連携しながら空港対策及び利活用促進を図る。	企画課
129	大井川流域交流事業	大井川流域smileネット事業費	6,712	見直しの上で実施	・FM島田の活用について、総務課(秘書広報部門)への移管を検討する必要がある。	企画課
		大井川流域交流費	1,070			
130	自治会活動推進事業	自治振興費	16,721	現状のまま継続	・自治会組織、町内会組織の円滑な運営のため、引き続き補助事業を実施し、より自発的、積極的なコミュニティ活動となるよう支援する。	総務課
		自治会運営費	3,988			
		地域施設管理費	2,650			
		町内会運営費	3,800			
		町内会活動費	7,935			

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
131	コミュニティ施設 整備事業	コミュニティ施設整備 事業費	42,122	現状のまま継続	・コミュニティづくりの推進を図るため、今後も引き続き本事業を継続し、コミュニティ活動拠点の整備を支援する。	企画課

第3章 教育・文化・交流 ～心豊かな人を育むまちづくり～ 第3節 心身の健康を保つ活動を推進する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
132	社会教育総務事業	社会教育総務費	1,659	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、社会教育を推進するため、社会教育総務事業を実施する。 さらなる職員の資質向上を図るため研修会に参加する。 社会教育事業が適正に実施できるよう、公用車を維持管理する。 	教育委員会事務局
133	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業費	120	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 一般住民の生涯学習への理解を深めるとともに、学習活動に関わることが少ない障がい者(児)へ、引き続き学習場所の提供を行う。 	教育委員会事務局
134	中央公民館活動事業	中央公民館活動費	4,050	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 継続して町民の学習機会を提供するため、参加者アンケート等を実施し、学習ニーズの把握に努める。 	教育委員会事務局
135	中央公民館運営事業	中央公民館運営費	30,312	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、生涯学習環境を提供するため、引き続き、施設・設備の維持管理を行う。 	教育委員会事務局
136	学習ホール運営事業	学習ホール運営費	8,071	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化や耐震性の課題に対して、計画的な改修や修繕を検討するとともに誰もが利用しやすい施設となるよう整備する。 	教育委員会事務局

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
137	社会教育委員事業	社会教育委員費	678	現状のまま継続	・社会教育法第15条の規定に基づく、吉田町社会教育委員条例により設置された社会教育委員の会議をより活発なものとするため、引き続き事業を実施する。	教育委員会 事務局
138	図書館管理事業	図書館管理費	44,727	見直しの上で実施	・図書館機能を活用した「地域の知の拠点」づくり推進のため老朽化した設備の修繕計画を作成し、ハード面(修繕等)の整備を行う。その際、平成24年12月に改正された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(文部科学省告示第172号)を達成できるよう、情報処理機能の向上を図り、有効かつ迅速なサービスを行うことができる体制を整える。	図書館
139	図書館活動推進事業	図書館活動推進費	21,558	見直しの上で実施	・図書館運営に必要な職員構成を検討し、人材育成のための「継続的・計画的」な研修を行い専門性の蓄積を図り、平成24年12月に改正された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(文部科学省告示第172号)の趣旨に沿った図書館運営が行えるようにする。 ・図書館資源を活用し、住民が必要とする情報を1箇所で開催できる「ワンストップサービス」(資料や情報の収集・分類・整理・保管・案内・提供・支援を一括して行う)の実現を目指す。	図書館
140	図書館外構整備事業	—	—	見直しの上で実施	・図書館敷地に隣接する都市計画道路東名川尻幹線の開通に伴い、敷地全体の整備計画を見直し吉田町土地利用事業の適正化に関する指導要綱に適合するように整備する。	図書館
141	体育施設・広場 維持管理事業	体育施設・広場 維持管理費	11,003	見直しの上で実施	・今後も施設点検を定期的実施し、適切な処置をしていくことで、快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供し、スポーツ人口の拡大を図る。 ・施設の老朽化に伴い、順次、更新を行っていく必要がある。	教育委員会 事務局

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
142	総合体育館運営事業	総合体育館 運営費	13,691	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、町民に対して快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、引き続き施設の整備及び維持管理を実施する。 ・利用者の安全を図るため、耐震補強工事を推進する。 	教育委員会 事務局
143	吉田町体育センター 運営事業	吉田町体育センター 運営費	1,510	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、町民に対し快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、引き続き、施設の整備及び維持管理を実施する。 ・利用者の安全確保のため、耐震補強工事を推進する。 	教育委員会 事務局
144	社会体育振興事業	社会体育振興費	8,477	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種大会及び教室の参加者数の推移や町民ニーズを把握し、多くの町民が参加しやすく魅力的な事業を実施する。 	教育委員会 事務局

第3章 教育・文化・交流 ～心豊かな人を育むまちづくり～ 第4節 歴史を継承し魅力ある文化を育む

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
145	芸術・文化振興事業	芸術・文化振興事業費	3,188	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、住民が優れた芸術文化を鑑賞する機会を得られるよう事業を継続する。 ・今後も、文化協会と協働で吉田町文化祭を開催し、町民の文化芸術活動の活性化を促す。 ・芸術文化活動推進に当たり、子どもたちがより、芸術文化に触れることが出来るよう、実際に体験できる教室等を行っていく必要がある。 	教育委員会 事務局
146	文化財保護事業	文化財保護事業費	286	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、文化財保護審議会の運営を行い、文化財の保全維持に努める。 ・文化財(天然記念物)について、適切な維持管理体制をとる必要がある。 ・引き続き文化財の標柱や看板の補修を行う。 	教育委員会 事務局

第4章 都市整備 ～自然と調和した、人にやさしいまちづくり～

第4章 都市整備 ～自然と調和した、人にやさしいまちづくり～ 第1節 地域の特性に応じた良好な住環境を実現する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
147	国土利用計画 策定事業	国土利用計画 事業費	0	現状のまま継続	・平成26年度に実施する基礎調査を基本とし、国土利用計画法第8条の規定に基づき、吉田町の区域における土地の利用に関する基本的事項を定めるための「第3次吉田町国土利用計画」を策定する。	企画課
148	土地利用及び 開発行為関連事業	都市計画総務費	20,850	現状のまま継続	・今後も実情に即し、適宜要綱を改正する。 ・調整池の草刈りの要望が増えており、コンクリート打ちやフェンス修繕の地元要望があり、また、開発から年月がたち劣化もみられることから、修繕を必要とする箇所が増えてきている状況である。	都市建設課
		土地利用対策費	2,360			
		土地利用対策費 (繰越明許)	14,675			
149	都市計画 マスタープラン 策定事業	-	-	休止	・都市計画法第18条の2「市町村の都市計画に関する基本的な方針」に基づき、吉田町の都市計画マスタープランが策定されている。施策の進捗と、その後のまちづくりの方向性との整合性を確認するために、中間年次の時期については、総合計画や国土利用計画が平成27年度末に、終了するため、都市計画マスタープランについては、中間見直しの時期を検討する。	都市建設課
150	建築確認事務事業	建築確認事務費	118	現状のまま継続	・「静岡県事務処理の特例に関する条例」に基づき、建築関係法令に規定する事務処理を行う。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
151	土地区画整理事業	土地区画整理事業費	95,643	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の充実した安全で安心な生活環境を確保するために、事業計画に沿った段階的なまちづくりを推進する。 ・国道150号のバイパス的な役割を担う(都)榛南幹線と東名吉田ICに接続する(都)東名川尻幹線は、榛南地域の生活と産業を支える幹線道路となることが予想される。特に幹線道路が交差する浜田土地区画整理区域内の交差点付近は、吉田町都市計画マスタープランにおいて「新居住拠点交流ゾーン」と位置付けられており、町内外との交流が生まれる新たな拠点として、沿道の利便性を活かした商業・業務・サービス・住宅を中心とする機能を誘導する旨の方向性が示されている区域であるため、東名川尻幹線の早期供用開始を目標に公共施設や住環境整備を継続する。 	都市建設課
		土地区画整理事業費 (繰越明許)	4,870			
152	吉田町浜田 土地区画整理 雨水渠整備事業	-	-	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の充実した安全で安心な生活環境を確保するため、水路等の公共施設の整備改修を図り、計画的な市街地の形成を早期に実現する。特に現段階は、幹線道路交通網の早期整備を主体として工事を押し進めており、これらの供用開始に合わせて既存の開渠水路を整備改修する。 	都市建設課
153	町営住宅 維持管理事業	町営住宅維持管理費	8,634	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉田町公営住宅等長寿命化計画」に沿って、住宅の改善事業を実施する。 	都市建設課

第4章 都市整備 ～自然と調和した、人にやさしいまちづくり～ 第2節 安全で利便性の高い交通環境をつくる

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
154	大幡川幹線 道路改良事業	地方特定道路整備事業 大幡川幹線改良事業費 (繰越明許)	29,234	休止	・(主)吉田大東線から東名高速道路までの区間について、事業を進めるにあたり、地域住民及び地権者と事前に慎重な話し合いを行う必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
		大幡川幹線 道路改良事業費	33,348			
155	榛南幹線整備事業	榛南幹線整備事業費	104,822	終了	・平成26年度(平成25年度繰越事業)に工事を実施し完了予定。	都市建設課
		榛南幹線整備事業費 (繰越明許)	20,604			
156	東名川尻幹線 整備事業	東名川尻幹線 整備事業費	50,350	現状のまま継続	・(主)焼津榛原線から浜田土地区画整理までの区間(延長L=240m)について、継続して事業を実施する。 ・高畑高島線南側の中央分離帯等の整備を図ることで、静岡県公安委員会より回答された交差点形状に改良する。	都市建設課
157	中央幹線整備事業	-	-	休止	・地域住民の利便性の向上のほか、児童、生徒等歩行者の安全性を確保するため重要な事業であるが、(主)焼津榛原線から県道吉田港線までの住吉新田地区の一部未整備区間について、事業実施時期を検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
158	住吉幹線整備事業	住吉幹線 整備事業費	0	現状のまま継続	・平成27年度の事業完了に向けて、引き続き、事業を実施する。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
159	富士見幹線整備事業	都市防災総合推進事業 富士見幹線整備事業費	0	現状のまま継続	・平成24年度から都市防災総合推進事業として採択され、国庫補助事業として実施しており平成26年度、平成27年度の2ヶ年で工事を実施し完了予定である。	都市建設課
		都市防災総合推進事業 富士見幹線整備事業費 (線越明許)	40,825			
160	都市計画道路 負担金事業	都市計画道路事業 負担金	1,560	現状のまま継続	・近隣市町と協力し、国や県に対して要望活動を進めていくことにより整備を促進させ、利便性の向上や地域住民の安全確保に努めていくため、継続して負担金を支出する。	都市建設課
161	東向2号線 道路改良事業	都市防災総合推進事業 東向2号線 道路改良事業費	37,734	休止	・問屋川にかかる問屋川2号橋の架け替えについて、施工方法や事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
		都市防災総合推進事業 東向2号線 道路改良事業費 (線越明許)	3,780			
162	亀の尻線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
163	西の坪大浜線 道路改良事業	都市防災総合推進事業 西の坪大浜1号線 道路改良事業費 (線越明許)	4,628	現状のまま継続	・西の坪大浜1号線の町道中臨港線から町道湯日川右岸堤12号線までの区間(延長L=216.4m、幅員W=5.5m)について、工事を実施し平成27年度に完了予定である。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
164	舞台民附線 道路改良事業	都市防災総合推進事業 舞台民附線 道路改良事業費 (繰越明許)	33,723	終了	・平成26年度に工事を実施し完了予定。	都市建設課
165	西の宮線 改良舗装事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
166	本田線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
167	中瀬北原線 道路改良事業	都市防災総合推進事業 中瀬北原1号線 道路改良事業費	189	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
		都市防災総合推進事業 中瀬北原1号線 道路改良事業費 (繰越明許)	18,539			
168	三軒屋西の宮線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
169	横山森下線 道路改良事業	横山森下線 道路改良事業費	2,177	終了	・平成26年度に工事を実施し完了予定。	都市建設課
170	古川川尻線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
171	下片岡山通り線 歩道改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
172	中臨港線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
173	吉田坂部線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
174	谷川東塩谷線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
175	塩谷上川原線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
176	日の出向原線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
177	大幡川尻2号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
178	東村上組線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
179	住吉東中線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
180	役場南線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
181	西川原間屋線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
182	問屋堤線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
183	西向5号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
184	青柳北原線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
185	日の出線・ 日の出12号線 道路改良事業	都市防災総合推進事業 日の出線 道路改良事業費 (繰越明許)	5,500	終了	・平成25年度(平成24年度繰越事業)に工事を実施し完了した。	都市建設課
186	森下西浜線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
187	荒古線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
188	寄子新田2号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
189	西の坪八軒屋1号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
190	浜河原5号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
191	松原線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
192	山通り浜河原線・ 川尻前田1・2号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
193	東中1号・ 西中2号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
194	町上3号線 道路改良事業	-	-	現状のまま継続	・平成28年度の事業完了にむけて、平成27年度は用地買収、物件補償を実施する。	都市建設課
195	中瀬高畑2号線 道路改良事業	都市防災総合推進事業 中瀬高畑2号線 道路改良事業費 (繰越明許)	5,985	終了	・平成25年度(平成24年度繰越事業)に工事を実施し完了した。	都市建設課
196	神戸大幡境2号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
197	堤内8号線道路 改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
198	境内下神戸線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
199	西浜3号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
200	東村線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
201	高島4号線 道路改良事業	都市防災総合推進事業 高島4号線 道路改良事業費 (繰越明許)	6,023	終了	・平成25年度(平成24年度繰越事業)に工事を実施し完了した。	都市建設課
202	向原6号線 道路改良事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
203	平島8号線 道路整備事業	都市防災総合推進事業 平島8号線 道路改良事業費 (繰越明許)	9,365	終了	・平成25年度(平成24年度繰越事業)に工事を実施し完了した。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
204	西中瀬8号線 道路改良事業	西中瀬8号線 道路改良事業費	1,440	終了	・平成25年度に県島田土木事務所で工事を実施し完了した。	都市建設課
205	西の宮6号線 道路改良事業	西の宮6号線 道路改良事業費	11,721	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
206	青柳田中線 道路改良事業	-	-	現状のまま継続	・平成26年度及び平成27年度で完了を目指し事業を進める。	都市建設課
207	敬満10号線 道路改良事業	-	-	廃止	・青柳田中線の拡幅が計画されており、新に敬満10号線の道路新設の必要がなくなった。	都市建設課
208	敬満線 道路改良事業	-	-	見直しの上で実施	・富士見幹線道路改良に伴い、業務委託及び用地買収を進める。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
209	下片岡16号線 道路改良事業	-	-	現状のまま継続	・平成27年度において工事を実施し完了予定である。	都市建設課
210	三ツ谷線 道路改良事業	-	-	現状のまま継続	・平成27年度において用地買収や工事を実施し完了する予定である。	都市建設課
211	道路維持管理事業	土木管理費	17,769	現状のまま継続	・引き続き、安全で快適な道路環境を確保するため、道路の維持管理に努める。	都市建設課
		道路橋梁総務費	920			
		道路維持費	51,788			
		道路維持費 (繰越明許)	3,498			
212	吉田町内道路舗装 修繕事業	-	-	見直しの上で実施	・平成27年度から、社会資本整備総合交付金事業の防災・安全交付金を利用して、計画的に修繕事業を実施することで、道路の長寿命化を図るものとする。	都市建設課
213	橋梁維持補修事業	橋梁維持補修費 (繰越明許)	2,427	休止	・引き続き、橋梁の損傷状況等を把握するための点検を実施し、維持管理に努める。	都市建設課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
214	橋梁整備事業 (念仏橋)	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
215	橋梁整備事業 (134号橋)	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
216	生活交通確保 対策事業	生活交通確保対策費	7	現状のまま継続	・町として生活に必要なバス路線を引き続き確保することが必要であり、現在、事業実施の結果バス路線は維持されているため、本事業は現状のまま継続する。	企画課

第4章 都市整備 ～自然と調和した、人にやさしいまちづくり～ 第3節 自然豊かな憩いの場を創出する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
217	緑化推進事業	緑化推進費	2,875	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、緑化意識の普及に務めるとともに、みどり豊かなまちづくりを進めるため、吉田町みどりのオアシスマつりを開催する。 緑化研修会(浜名湖花博2014花壇出展)を通し、緑化リーダーの育成を図る。 	都市建設課
218	花のまち推進事業	花のまち推進事業費	2,057	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい快適な生活環境づくりを促進するとともに花いっぱい活動を通じたコミュニティの活性化を図るため、引き続き、事業を推進する。 花街道事業については、現状及びニーズ等を把握し、事業の一部見直しを行うことで、より現状に合った事業の推進を図る。 	都市建設課
219	みどりのまちづくり事業	みどりのまちづくり事業費	50	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 緑あふれる町づくりを推進するとともに、地震等による災害の防止を図るため、引き続き、「吉田町生け垣づくり事業補助金」制度の積極的な活用を促進する。 	都市建設課
220	松くい虫防除事業	松くい虫防除事業費	5,943	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 防風、防潮、飛砂防備等、松林の公益的機能を適正に保全するため、事業を継続する。 	産業課
221	保安林等保護環境整備事業	保安林等保護環境整備事業費	6,484	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 防風、防潮、飛砂防備等の機能を保全し、未然に不法投棄を抑制するためにも、継続的な環境整備が必要であることから、引き続き、業務を実施する。 	産業課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
222	公園維持管理事業	公園維持管理費	34,221	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の憩いの場である公園を安全に利用いただくため、ベンチや遊具等の点検を行い、計画的に維持修繕を実施する。 ・公園利用者が快適に利用できるよう、樹木の剪定や草刈等を実施し、適正な公園管理に努める。 	都市建設課
223	都市公園愛護活動事業	公園愛護会支援事業費	300	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公園愛護活動を自発的に行う団体に対し、報償金制度の積極的な活用を促進する。併せて、他の緑化推進団体と連携し、都市公園施設が、地域住民等により適正に維持管理され、その機能を十分発揮できるよう、より一層の公園愛護活動の助長及び充実を図る。 	都市建設課
224	吉田公園整備事業	-	-	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。 	都市建設課
225	湯日川緑道整備事業 (湯日川能満寺)	-	-	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。 	都市建設課
226	防災公園整備事業	都市防災総合推進事業 北区公園整備事業費	2,799	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から都市防災総合推進事業として採択され、国庫補助事業として実施しており平成26年度、平成27年度の2ヶ年で工事を実施完了予定である。 	都市建設課
		都市防災総合推進事業 北区公園整備事業費 (繰越明許)	127,716			

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
227	住吉西の坪公園 整備事業	-	-	休止	・事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。	都市建設課
228	能満寺山公園 整備事業	-	-	現状のまま継続	・駐車場整備事業の完成に向けて、継続して事業を実施する。	都市建設課
229	河川維持管理事業	河川総務費	787	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の環境美化活動を支援する制度(リバーフレンドシップ制度)を広く周知することにより、ボランティア団体の参加を促す。 ・快適な河川環境の保全が図れるよう、自発的に河川清掃を実施する団体を支援する。 ・引き続き、良好な河川環境を確保するため、河川パトロールを実施する。 	都市建設課
		河川維持管理費	32,174			

第5章 産業振興 ～魅力ある産業を振興し、活力あふれるまちづくり～

第5章 産業振興 ～魅力ある産業を振興し、活力あふれるまちづくり～ 第1節 地域産業を育成・支援する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
230	農業総務事業	農業総務費	1,013	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等へ積極的に参加し、知識の習得に努め、近隣市町との情報交換を通して協力関係を構築する。 ・農業共済への新たな加入者の促進を図り、気象災害等によって被った農作物等の損害に対する備えをし、農家の経営を守る。 	産業課
231	農業委員会運営事業	農業委員会運営費	3,266	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法等の厳正な執行にあたり、農地流動化の推進や意欲ある担い手の育成・確保に取り組む、農業全般にわたる諸問題を遅延なく解決するように努める。 ・農業者年金への加入促進活動を通じて、安心して豊かな老後生活の安定と福祉の向上を図るよう新規加入者の掘起しに努める。 	産業課
		農業者年金事務費	154			
232	農業振興事業	農業振興費	3,318	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者団体への支援を行うことにより、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に見合う、自立した経営体の育成に努める。 ・農業振興地域整備計画を見直し、農振農用地区域を適正に保全する。 	産業課
233	農業経営所得安定対策推進事業	農業経営所得安定対策推進事業費	123	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営所得安定対策推進事業については、引続き回覧文書等を通じて普及を図り、制度への新たな加入者の促進に努める。 ・水田台帳を活用し、農業者に耕作地の情報を効率的に提供する。 	産業課
234	畜産事業	畜産業費	116	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜糞尿の適正な処理について啓発及び指導を行い、堆肥等への利用を促進することにより、環境負荷の少ない環境保全型畜産を引き続き推進する。 ・防疫事業の効果や安全性等についての情報を提供周知する。 	産業課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
235	担い手育成 総合対策事業	担い手育成 総合対策事業費	513	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に策定した「人・農地プラン」を更新し、地域の中核的担い手に積極的な支援を行い、育成を図る。 認定新規就農者が地域の担い手となることを目指し、経営が軌道に乗るまでの間を支援するため、青年就農給付金事業(経営開始型、適用要件該当者1名、県費補助10/10))を継続して実施する。 	産業課
236	土地改良事業	土地改良事業費	24,033	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 農業水利施設は農業生産基盤の中核施設であると共に、環境、防災、国土保全等の多面的機能を果たす公共性及び公益性の高い施設であり、今後も安定的な用水の供給並びに施設機能の適正な管理を図るべく、国営土地改良事業に伴う灌がい排水事業による造成施設や災害復旧事業、大井川用水の基幹水利施設・末端用水路整備に係る事業費負担を継続的に実施する。 	産業課
237	用水路改修・ 維持事業	水門・排水機場 管理費	7,460	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、農地の効率的な利用が図れるよう、農業用施設の維持管理に努める。 	都市建設課
		用水路・改良 維持修繕費	883			
238	吉田坂部幹線用水路 改修事業	-	-	休止	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施時期について検討する必要があるため、平成27年度は休止とする。 	都市建設課
239	耕作放棄地対策事業	耕作放棄地対策事業費	0	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の解消及び発生防止の推進のため、農地の幹旋や補助制度の活用等により耕作放棄地を有効活用する農業者を引き続き支援する。 	産業課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
240	地域栽培推進事業	地域栽培推進事業費	412	現状のまま継続	・負担金による事業実施により、漁獲量の効果が徐々に表れていることから、水産資源を確保するため、継続的に事業を進める。	産業課
241	漁港管理事業	漁港管理費	10,368	現状のまま継続	・引き続き、漁港漁場整備法及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携し、吉田漁港の維持管理を行う。	産業課
242	水産基盤整備事業	水産基盤整備事業費	19,587	見直しの上で実施	・引き続き、水産基盤整備事業計画に沿って事業を実施する。 ・平成27年度からの新規事業である漁港施設の機能強化事業、機能保全事業及び環境整備事業を事業計画に沿って実施する。	産業課
		水産基盤整備事業費 (繰越明許)	91,765			
243	小規模局部改良事業	小規模局部改良事業費	17,400	現状のまま継続	・引き続き、県の補助制度を活用し、漁業者や漁港利用者の安全を確保するために計画的に施設整備を実施する。	産業課
244	流木等処理対策事業	-	-	見直しの上で実施	・台風等の影響により海岸に漂着物が打ち上げられ、漁港海岸の環境対策や景観保持等が必要となる場合に実施する。	産業課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
245	水産振興事業	水産振興費	2,249	現状のまま継続	・継続して補助金及び負担金を支出することで、水産業の振興と地域の活性化を図る。	産業課
246	商工業振興事業	商工業振興費	6,006	見直しの上で実施	・小規模事業者の経営の安定と振興を図るため、引き続き補助要綱に基づき、商工会が行う経営改善普及事業を支援し、補助金支出を継続する。 ・農商工連携の動きの活発化を推進し、商品開発や販路開拓に向けての取組を支援する。	産業課
247	中小企業振興事業	中小企業振興費	1,530	見直しの上で実施	・引き続き、各制度要綱に基づき適正に事業を行い、中小企業の経営基盤の安定及び健全な発展を支援する。 ・地方創生に向けて、町内中小企業の活力発揮を支援するため、新たに支援制度を創設する。	産業課
248	観光振興事業	観光振興費	30,469	見直しの上で実施	・空港及び高速道路利用者の誘客を図るため、吉田町独自の観光ルートを作成する。 ・漁業、農業と連携し、地産地消をテーマにした特産品の開発を推進する。 ・観光拠点整備の実現に向けて、魅力創造委員会と連携を図り進める。	産業課
249	産業委員会運営事業	産業委員会運営事業費	105	見直しの上で実施	・各団体の現状、課題を共有し、町の産業振興について意見交換等を行う。	産業課

第5章 産業振興 ～魅力ある産業を振興し、活力あふれるまちづくり～ 第2節 新産業を育成・支援する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
250	企業立地振興事業	企業立地振興費	566	見直しの上で実施	・内陸フロンティアの取組のひとつである企業活動維持支援事業を推進するため企業訪問等を通じて企業立地支援制度のPRを図り、誘致活動に努める。	産業課

第5章 産業振興 ～魅力ある産業を振興し、活力あふれるまちづくり～ 第3節 就業対策を充実する

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
251	労働福祉事業	労働福祉費	2,576	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者の余暇や健康増進活動等の福利厚生の実施を図り、安定した労働力を確保するため、引き続き、補助要綱に基づき、榛南地域労働者福祉協議会及び榛南地区勤労者共済会への補助金支出を継続する。 	産業課
252	勤労者会館運営事業	勤労者会館運営費	42	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者の福祉、文化教養を養うために設置された勤労者会館は、社会情勢の変化、価値観の多様化により、勤労者の利用はなくなるとともに、公民館活動としての生涯学習教室が盛んになったことで、勤労者に関わらず文化教養を養うための生涯学習環境が整備されてきた。勤労者会館の当初の目的は果たしたとして、中央公民館(勤労者会館)の耐震補強工事に伴い、勤労者会館を廃止し、中央公民館として管理を移行する。 	教育委員会 事務局
253	雇用対策事業	雇用対策費	286	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、補助金要綱に基づき榛南職業訓練協会を支援し、職業人として有為な労働者の養成を図る。 ・公共職業安定所や企業と連携し、求人情報の提供に努め、就業の促進を図る。 ・近隣市町、企業、金融機関、大学及び各関係団体等と情報を共有しながら、就業の促進を図る。 ・平成27年度に特別支援学校の開校が予定されているので、学校と就職に関する情報交換等を行い、障害者の雇用促進を図る。 ・町内への雇用促進を図るため、就労支援セミナーを実施する。 	産業課

第6章 基本計画推進に向けて ～まちづくり計画の推進～

第6章 基本計画推進に向けて ～まちづくり計画の推進～ 第1節 自律型行財政運営に基づくまちづくり

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
254	一般行政事務事業 (総務)	一般行政事務費	38,353	現状のまま継続	・行政事務を、適正かつ円滑に執行し、最小の経費で最大の効果を上げられるよう、引き続き、事務改善に努める。	総務課
255	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (一般管理費)	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (総務管理費)	26,447	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。	総務課
256	日曜開庁事業	日曜開庁事業費	3,581	現状のまま継続	・引き続き、行政サービスの利便性の観点から、日曜開庁事業を実施する。	総務課
257	庁舎施設 維持管理事業	庁舎管理費	68,868	現状のまま継続	・町民が快適に利用できる施設として、引き続き清掃・設備点検等の日常的管理及び建物・設備などの修繕を実施し、行政サービスの拠点となる庁舎の適切な維持管理を行うとともに、照明の間引きや電力量の監視による空調運転時の最大需要電力を抑制することにより、維持管理費の削減を図る。	総務課
258	公有財産管理事業	公有財産管理費	21,238	見直しの上で実施	・土地の借上げをはじめ、町の公共施設を維持していくため、今後も継続して事業を実施する。 ・公有財産の効率的な資産管理を行い、未利用財産の有効活用を行っていくためには保有する全ての財産を網羅する固定資産台帳の整備が必要であるため、現行の公有財産台帳システムを固定資産台帳として整備するための見直しを行い、より適切な財産管理を実施する。	総務課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
259	公用車管理事業	公用車管理費	2,463	現状のまま継続	・安全かつ迅速に公務を執行するため、引き続き、公用車の管理を行う。	総務課
260	契約管理事業	契約管理費	2,412	現状のまま継続	・引き続き、入札・契約事務及び工事検査を円滑かつ適正に執行する。	総務課
261	選挙管理事業	選挙管理費	420	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく事業であり、引き続き、公正かつ適正に執行する。	総務課
262	明るい選挙推進事業	明るい選挙推進費	95	現状のまま継続	・引き続き、選挙人の政治意識の向上のため、投票参加を呼び掛ける選挙啓発を行う。	総務課
263	参議院議員選挙事業	参議院議員選挙費	7,924	休止	・公職選挙法に基づく参議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成27年度においては、選挙の予定はない。	総務課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
264	衆議院議員選挙事業	-	-	休止	・公職選挙法に基づく参議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成27年度においては、選挙の予定はない。	総務課
265	県知事選挙事業	県知事選挙費	6,717	休止	・公職選挙法に基づく県知事選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成27年度においては、選挙の予定はない。	総務課
266	県議会議員選挙事業	-	-	現状のまま継続	・公職選挙法及び地方自治法第2条第9項第2号に基づく都道府県の議会議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であり、平成27年度において執行予定。	総務課
267	町長、町議会議員 選挙事業	-	-	見直しの上で実施	・公職選挙法第5条に規定する法に基づく市町村選挙管理委員会が管理する選挙であり、平成27年度において執行予定。	総務課
268	農業委員会委員 選挙事業	-	-	休止	・農業委員会等に関する法律第9条に規定する、法で定める市町村選挙管理委員会が管理する選挙であり、平成27年度においては、選挙の予定はない。	総務課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
269	大井川土地改良区 総代選挙事業	-	-	見直しの上で実施	・土地改良法施行令第5条に規定する、法に基づく市町村選挙管理委員会が管理する選挙であり、平成27年度において執行予定。	総務課
270	静岡海区 漁業調整委員会 委員選挙事業	-	-	休止	・公職選挙法及び漁業法に基づく静岡海区漁業調整委員会委員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成27年度においては、選挙の予定はない。	総務課
271	一般行政事務事業 (戸籍住民基本台帳 事務)	戸籍・住民基本台帳 事務費	26,746	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年10月に個人番号の付番に伴う事務が予定され、全住民に通知カードが交付される。 ・平成28年1月から住基カードの発行は廃止され、個人番号カードの発行が開始する。個人番号カードの発行は、法定受託事務のため職員が扱う必要があり、発行枚数に合わせ事務体制を見直す必要がある。また、特定個人情報(個人番号を含む情報)を保護するためのセキュリティの強化も必要となる。 ・住民基本台帳法における異動業務も個人番号カードを利用した事務手続きに変更されるため、システムや事務手続きの変更が必要となる。また、各業務において個人番号が利用されることとなるため、情報の集約化が事務効率を上げる点から必須となり、ワンストップ化によるPUSH型の住民サービスを検討する必要がある。 ・人事異動時における事務能力の低下を省き、事務内容に専門性を有する点から、アウトソーシングの活用等について検討する。 ・個人番号カードの普及を促進するため、印鑑登録証や自動交付機の機能の付与、証明書のコンビニ交付の実施など個人番号カードの独自利用について検討する。 	町民課
272	一般行政事務事業 (出納管理事務)	出納管理事務費	1,750	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、適正かつ効率的な出納管理事務を行う。 ・資金管理・運用については、最も確実かつ有利な方法を検討する。 ・より円滑で適正な会計事務処理を行うための手法を検討する。 	会計課
273	一般行政事務事業 (議会)	議会運営費	71,361	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・議員改選期に伴い、議会内に議会基本条例の意識を共有する場が設けられるため、これらの協議・検討結果を受けて議会改革の支援を行う。 ・議会情報の発信方法は、議会広報推進特別委員会の調査結果を受けて慎重に対応する。 	議会事務局
		議会調査活動費	3,320			

No.	実施計画事業名	平成25年度予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
274	一般行政事務事業 (監査)	監査委員費	1,034	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・監査に用いる監査資料を見直し、事務改善を図る。 ・監査委員のスキルアップを支援するため、専門研修の拡大を図る。 	議会事務局
275	一般行政事務事業 (企画)	企画調査費	2,311	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・絶えず変化する行政課題に柔軟に対応するため、常に最新の情報を収集するとともに調査研究を継続して行う。 	企画課
276	吉田町総合計画 策定事業	-	-	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画が平成27年度末をもって終了するため、平成27年度においては、平成26年度業務に引き続き、策定作業を実施する。 	企画課
277	内陸フロンティア 推進事業	-	-	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、国営かんがい排水事業受益地での農振農用地除外に向けた調整を図る。 ・事業調整と並行して地元との調整を図る。 ・引き続き、企業誘致を積極的に進める。 ・新たに大幡川の橋梁、町道拡幅、新設計画に伴う設計業務委託を進める。 	企画課
278	統計調査事業	統計一般事務費	185	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行政運営に必要なデータを得るため、引き続き実施する。 ・統計要覧発行事業は、行政だけでなく住民、企業等に町の状況を正確に周知するために必要な事業であるため、継続して実施する。 	企画課
		諸統計調査費	1,745			

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
279	行財政構造改革 推進事業	行財政構造改革 推進事業費	38	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・非効率な事務運営を是正するため、「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」による、PDCAサイクルに基づいた事業の見直しを継続して実施する。 ・平成27年度は、「第4次吉田町総合計画後期基本計画」の最終年度となるため、例年の見直しを行うとともに、後期基本計画期間の評価の取りまとめについて検討する。 ・平成28年度からの新たな計画に基づいた行政評価の制度構築について検討する。 	企画課
280	土地取得事業 (繰出金)	-	-	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・用地先行取得に係る土地取得事業特別会計の起債償還に対する事業であるが、現在、対象となる償還は無い。 	総務課
281	土地取得事業 特別会計	一般管理費	3	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・土地開発基金への積み立ては継続し、また、用地の先行取得が必要な際は、即座に対応できるよう事業を継続する。 	総務課
		財産取得費	0			
		繰出金	0			
282	普通財産活用事業	普通財産取得費	0	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に土地取得事業特別会計から土地を買い戻し、一般競争入札に付し、土地の売払いを行う。 	総務課
283	財政管理事業	財政管理費	1,768	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を教訓に、当町においても南海トラフ地震に備える「津波防災まちづくり」を強力に推進することが喫緊の課題となっている。引き続き、後年度における財政負担に留意し、健全で安定した財政運営に努める。 	企画課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
284	公債費償還事業	公債費(元金)	730,713	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。 地方債残高の減少を図るため、銀行や信用金庫などの民間資金の繰上償還を検討する。 	企画課
		公債費(利子)	123,042			
		公債諸費	0			
285	基金費事業	財政調整基金費	775,104	現状のまま継続	引き続き、不測の事態に対応し、安定した財政運営を行うため、基金を積み立てる。	企画課
		減債基金費	10			
		環境保全基金費	3			
		小中学校建設基金費	68			
		教育振興基金費	347			
		地域の元気臨時交付金基金費	434,063			
		緊急地震・津波対策事業基金費	105,000			
286	予備費事業	予備費	0	見直しの上で実施	引き続き、財政の均衡を阻害しない程度の金額で予備費を設け、緊急に解決すべき不測の行政課題に対応する。	企画課
287	税務総務事業	税務総務費	28,730	現状のまま継続	引き続き、税務総務事業を継続し税務事務の効率化を進める。	税務課

No.	実施計画事業名	平成25年度予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
288	賦課徴収事業	賦課徴収費	44,731	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・税務相談顧問の任用により、差押などの法的処置を中心とした滞納整理を徹底し、より効果的な滞納整理を目指す。 ・公平な徴収を行うため、納税者の生活実態を把握するための各種調査を強化する。 ・特別徴収義務者の滞納額削減のため早期催告を行う。 ・消滅時効事案に係る処理方針を早期に策定し、時効欠損を回避する体制を整備する。 ・マイナンバー法に伴う情報連携の実施等に必要の町の既存税務システムの宛名・課税・収納・滞納管理システムの改修を行う。 ・固定資産税の平成27年度評価替えに向け、土地の状況類似地区や路線価等の見直し、家屋の評価替えの見直しを行い、適正な評価と課税に努める。 ・償却資産の実地調査を継続し、適正な課税に努める。 	税務課
289	臨時職員対策事業	臨時職員対策事業費	48,339	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、行政運営を円滑、効率的に進めるため、必要に応じて臨時職員を任用する。 	総務課
290	人事管理事業	人事管理費	9,480	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、効率的な行政運営に資するため、適正な定員管理を行う。 ・採用試験の実施について、会場を含め、より効率的に実施する。 ・制服貸与について現状を踏まえた見直しを図る。 ・番号関連4法が平成25年5月31日公布となり、平成27年10月に個人番号が付番されることにより、給与関係における事務の情報収集が必要となる。 ・「被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律」により、平成27年10月から公務員も厚生年金に加入することになり、これに伴う事務処理の増加が予想され、給与情報において必要なシステム改修を実施し、改修に取り組む。 	総務課
291	職員福利厚生事業	職員福利厚生費	2,905	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公務員法第42条及び労働安全衛生規則に基づき、事業を継続して実施する。 ・メンタルヘルス不調の予防を目的とした「ストレスチェック」の実施を義務化する「労働安全衛生法の一部を改正する法律」が平成26年6月25日に交付されたことにより、メンタルヘルス不調者を出さない職場環境作りに取り組む。 	総務課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
292	職員研修事業	職員研修事業費	2,695	現状のまま継続	・地方分権に伴う自立的な政策形成や組織運営を担うことができる職員の育成を図るため、引き続き職員研修を実施する。	総務課

第6章 基本計画推進に向けて ～まちづくり計画の推進～ 第2節 住民と協働によるまちづくり

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
293	情報化推進事業	情報化推進費	29,568	見直しの上で実施	・ICTの有効活用により事務の効率化や行政サービスの向上を図るため、引き続き見直しを行い、より効率的な事務処理に必要な環境整備を図る。	企画課
294	情報公開制度 推進事業	情報公開制度 推進費	3,199	現状のまま継続	・吉田町情報公開条例及び吉田町個人情報保護条例に基づき、適正に事業を進める。	総務課
295	ホームページ 運営事業	ホームページ 運営事業費	419	見直しの上で実施	・情報掲載のルールを確立するとともに、ホームページ全体の構成の見直しを行うなど引き続き町民にとってより見やすく分かりやすい情報発信を行う。	企画課
296	広報事業	広報事業費	7,576	現状のまま継続	・引き続き、「住民が求める情報」、「住民が必要な情報」、「住民が関心を示す情報」を確実に伝えられるよう住民に親しまれる広報紙の作成に努めるとともに、より多くの住民に情報が届くように様々な手段により情報を発信する。	総務課
297	広聴事業	-	-	現状のまま継続	・引き続き、住民の意見や要望を様々な手段により伺うため、広聴事業を実施する。	総務課

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
298	吉田町表彰事業	吉田町表彰費	193	現状のまま継続	・引き続き、条例に基づき、まちづくりに大きく貢献した住民を表彰することにより、町政への関心を高め、貢献してもらおうことができるよう努める。	総務課
299	住民参画推進事業	住民参画 推進事業費	3	見直しの上で実施	・住民参画がさらに図られるよう、当町に合った住民参画手法等の検討・導入が必要である。	企画課
300	男女共同参画 推進事業	男女共同参画 推進費	1,282	見直しの上で実施	・男女共同参画社会の実現に向け、女性の意見を町政により一層反映させるための仕組みの構築について検討していく必要がある。	企画課
301	地域福祉推進事業 (人権啓発事業)	人権・地域改善費	313	現状のまま継続	・引き続き、各種研修会へ積極的に参加し、同和問題をはじめ、幅広く人権問題の学習に努めるとともに、すべての住民の人権が尊重されるための啓発活動を行う。 ・開かれたコミュニティセンターとして神戸西会館を運営する。	社会福祉課
		神戸西会館運営費	4,587			
302	人権教育事業	人権教育事業費	15	現状のまま継続	・今後も、人権問題に対する正しい理解と解決に向けて講演会や研修会等を継続し、人権意識の高揚を図る。	教育委員会 事務局

No.	実施計画事業名	平成25年度の予算事業		平成27年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
303	ユニバーサルデザイン 推進事業	ユニバーサルデザイン 推進費		1 見直しの上で実施	・「誰もが暮らしやすいまち」づくりに向け、庁内でユニバーサルデザインに関する情報を共有し、一体となってユニバーサルデザインを推進する体制の整備について検討する必要がある。	企画課